

府民泣かせて、どうして大阪が元気になるの？「橋下改革」

橋下知事直轄のプロジェクトチームが公表した「府財政再建プログラム試案」。今でもたいへんな府民の暮らしに、さらに切り捨てるやり方で大阪が「元気」になるのでしょうか。



教育

35人学級を廃止

(小学校1、2年生)

40人学級に

20人のクラスが
40人になる場合も

これで学力が
向上するの？



子どもたちに丁寧に 対応してほしい

子どもが「先生はぼくのことをちゃんと見てくれてる。わからんことも教えてもらえる」と安心して勉強にとりくめる環境をつくるのが保護者や学校の役目だと思います。いろんな子どもたちにたった1人の先生がきちんと対応するには、多人数クラスより少人数のクラスの方が、双方にとっていいはず。

小学4年生の子どもをもつお母さん 寺内 まゆみさん



私学授業料 助成の削減

年収288万円以下でも

7万円もの 授業料値上げ

430万円以下世帯は
9万円値上げ

500万～680万円の世帯は
4万円値上げ

「大阪の高校生に笑顔を
くださいの会」宣伝行動



誰もが途中で辞めることなく、楽しく笑顔で学校に通えるように、私学助成の削減や定時制・通信制高校生の教科書無償給付費の廃止なんて、しないでほしい。

大阪の高校生に笑顔をくださいの会
代表 大川 育美さん(高校3年生)



商店街 支援

大阪経済、まちの 活性化にブレーキ!

「まちづくり」に不可欠な商店街。地域の消費者や住民によって魅力あふれる「場」になるよう商店を応援

3年前から、消費者と
商店街、大阪府で協議しての
事業なのに?

1店に、府は1/2補助で
50～200万円の補助金

1/4に
削減

医療

医療費負担増

乳幼児医療、ひとり親
家庭医療、重度障害児
(者) 医療、老人医療

自己負担
月500円×2回

1割
負担に
(窓口で)

71歳、糖尿病と高血圧
症の人が受診・薬、検査
したら

現在 500円(1回)

5倍以上に!
(2620円)

市町村のサービスも 大ピンチに

学校警備員の配置や医療費助成、19時まで時間延長する学童保育、障害者作業所などの運営費補助など、市民サービスに関わる多くの事業は府が1/3～1/2の補助を出しています。府補助分がなくなれば、市民サービス廃止の可能性も。

～大阪の文化、芸術、スポーツを守れ～

「橋下改革」に“異議あり”の声

「ワッハ上方を応援する会」「大阪センチュリー交響楽団を応援する会」「大阪府の博物館を支援する会」「府立の施設と文化を考える府民の会」「好きやねんドーンセンターの会」「大阪国際児童文学館を支援する会」「臨海スポーツセンター存続の会」など切り捨て御免の「橋下改革」では府民の心の糧が失われると、署名運動に立ち上がる府民や団体が日ごとに広がっています。



「府立の施設と文化を考える府民の会」も要請

「センチュリー交響楽団守れ」と知事にメッセージ

スタニスラフ・ブーニン氏
(ピアニスト)

大阪の文化の顔の一部となりつつある新しい文化遺産・大阪センチュリー交響楽団を失う決断をなさらないことを願っています。